



## 社会福祉法人あさひ共生福祉会 SDGs宣言

私たち 社会福祉法人あさひ共生福祉会は「住み慣れた家、住み慣れた地域で最後まで暮らし続けたい」その想いを実現させるという理念に基づき、地域の皆様がいつもの町、いつもの我が家で自分らしく年齢を重ねていけるように、地域に根差したサポート体制の構築のため様々な取り組みを進めています。

このような取り組みは国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)と関連するものであります。SDGsの17ゴールの中から私たちに関連が深い目標を採択し、社会福祉法人として持続可能な社会を実現するため、2030年まで継続的に貢献していくことを宣言いたします。

2021年12月1日

社会福祉法人あさひ共生福祉  
理事長 名古屋孝徳

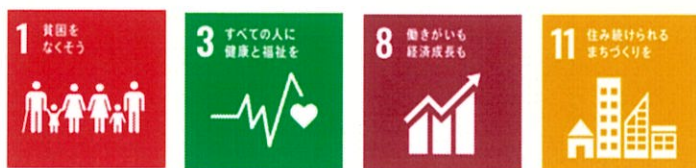
子供から高齢者まで疾病に関わらず共に暮らせる社会を実現させるために

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年9月の国連サミットで採択された『持続可能な開発のための2030アジェンダ』に記載されている2030年までの国際目標であり、貧困、格差の解消、気候変動の問題解決など持続可能な世界を実現させるための計り知れない挑戦に対する17の目標、169のターゲットから構成され、「だれ一人取り残さない」し、「もっとも取り残された人には最初に手を差し出す」ことを誓っています。

## 社会福祉事業 目標 1・3・8・11



- 要支援、要介護、医療管理の必要な方など、ご利用者様個々の状態や、ご家族様のご希望に合わせた介護、看護の専門的なサービスを提供します。
- 住み慣れた家、住み慣れた地域で暮らし続ける想いを実現するため、様々な福祉サービスを複合的に実践していきます。
- 地域ニーズに合った施設整備により、総合福祉サービスを展開し、地域福祉の充実に貢献していきます。

## 社会貢献・地域貢献 目標 1・2・3・11・17



- 介護、看護の法人が提供する福祉サービスを連携させ、地域医療機関との協力体制による地域ケアネットワークを構築し、地域の在宅ケアに貢献していきます。
- 施設ではなく住宅という考えに基づく福祉サービスを展開し、利用者様の援助計画に合わせて職員を配置します。ご利用者様の尊厳を守り収容の場から住居の場へ、そして集団処遇から個別ケアの実現に向けて、地域に根差した活動を行っていきます。
- 子供から高齢者まで切れ目のない連続した福祉サービスを提供し、地域のために、地域と共に活動し、地域の「Ageing in Place」を支えます。

## 働き方改革の推進 目標 4・5・8



- 資格取得の推奨を行っており、一部の研修・資格取得の費用を会社で負担しております。
- 新人教育に関してのノウハウをしっかりと学んだ担当指導員による新人職員へのサポートなど未経験から働ける体制が構築されています。
- 職員への研修は随時オンラインで受講可能であり、中堅・ベテランスタッフへのサポート体制が整っています。
- 社員・パートの区別なく法人全体の懇親会を開き、風通しのよい職場風土を整備しています。
- 育児休業の取得、職場復帰や雇用形態も柔軟な対応ができ、結婚、出産、育児サポートの体制が整っています。